

高山市学校教育の方針

【方針】 郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む
 【重点】 挑戦し続けるたくましさの育成
 達成感と貢献感を積み重ねることが
 挑戦するエネルギーになる

学校課題

- ・自分の考えをもち、仲間と伝え合いながら、主体的に学びに向かう児童の育成
- ・自分で考えて判断し、課題を解決する力の育成
- ・関わりのなかで互いの良さを理解し合う力の育成
- ・地域のよさに気づき、愛着と誇りがもてる児童の育成
- ・義務教育学校に向けて、小中連携における一貫性のある教育活動の推進

教育目標：ふるさとを愛し 夢に向かって たくましく生きる子

【校区で育てたい資質・能力】 一人で判断して行動できる・人と関わり共に生きる

学校経営の方針

【小中連携の3つの柱】 学習指導・道徳教育 生活指導・特別活動 教育相談 《参照：「校区連携構想図」》
 【指導の重点】 なりたい自分を描き、挑戦し続け、苦手や困難を乗り越えるたくましさ育てる
 ふるさとのよさや課題がわかり、地域とつながり貢献しようとする心を育てる

【育てたい資質・能力】 ～自分で考え、仲間(全校児童)と関わり、自分から挑む子

学習づくり

自分で 自分から 自分たちで

生活づくり

☆自分の考えをもち、考えを伝え合い、主体的に学びを深め合う子
 ～「自分でできる・発信する力」の育成～

- ① 基礎基本を身に付け、「自分でできた」「伝えたい」を生み出す授業づくり
 - ・学習規律、見通しをもった学び方の定着を図る(学習リーダーの育成)
- ② 課題に対する自分の考えをもつ「一人学び」考えを伝え合う「仲間学び」の定着
 - ・考えの根拠を明らかにし、仲間の考えと関わらせながら自分の考えを発言する場を位置づける
- ③ ICT 機器を効果的に活用する授業づくり
 - ・有効な活用の場や方法の共有

☆願いをもって挑戦し、仲間と関わり、やり抜く子 ～自己有用感の醸成～

- ① 目標や願いをもち、達成に向けての道筋の明確化
 - ・なりたい自分や達成するための方法を定期的に振り返る
- ② 日常から、縦割り活動を生かしたピアサポートの展開
 - ・縦割り掃除、全校朝の会を日常的に実施する
- ③ いじめを許さず、互いに認め合う規律と人権感覚の磨かれた集団の育成
 - ・児童活動を充実させる
- ④ 心身の安定、居場所づくり(個に応じた教育相談)
 - ・全教職員で個に応じた教育相談体制を構築する

【地域に貢献する郷土愛づくり】

「ふるさとのよさや課題を知る」・「ふるさとに生きる人々とつながり、生き方を学ぶ」「自分ができることを考えて行動する」

【地域ぐるみで子どもを育てる連携と協働】

「情報の交流」「子どもとかわかり、大人の姿を見せる」「安心・安全に学ぶことができる環境づくり」

【学校運営協議会】 学校運営についての承認と提言、相談 学校評価に基づく運営状況の評価

【地域(朝高子どもしとねる会、まち協等)】 環境づくり支援活動、郷土学習支援活動

【家庭(保小中PTAの連携)】 自分から挨拶、家庭学習習慣、生活習慣の具体的な取組 小中PTA活動の一本化

【 学び続け、支え合う朝日小職員 】

- ・「目指す姿を示す」「挑む気持ちを高める」「見届ける」「認める・価値づける」ことで成長を支援する。
- ・迅速な情報共有、的確な児童理解を基盤に児童の居場所をつくり、全職員で児童の心に寄り添う。
- ・日常的な授業交流、情報交流を通して、学び合いを創り出す授業力を高める。